

# 東部環境センター維持管理記録書(令和3年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,953
		2号炉	2,512
		3号炉	405

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	4月24日	942
		2号炉	4月30日	982
		3号炉	4月30日	966
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	4月24日	168
		2号炉	4月30日	168
		3号炉	4月30日	168
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	4月24日	4
		2号炉	4月30日	5
		3号炉	4月30日	5

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
					— ppm		
ばいじん	1回/2月				— g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				— mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
					— ppm		
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	— ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N	
硫黄酸化物	1回/2月				— m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
					— ppm		
ばいじん	1回/2月				— g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	— mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N	
					— ppm		
窒素酸化物	1回/2月				— ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N	
硫黄酸化物	1回/2月				— m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
		— ppm					
ばいじん	1回/2月	— g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N				
塩化水素	1回/2月	— mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N				
		— ppm					
窒素酸化物	1回/2月	— ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 東部環境センター維持管理記録書(令和3年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	628
2号炉		2,260	
3号炉		2,750	

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月31日	927	800 以上
		2号炉	5月27日	973	
		3号炉	5月31日	932	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月31日	168	概ね 200 以下
		2号炉	5月27日	168	
		3号炉	5月31日	168	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月31日	3	100 以下
		2号炉	5月27日	5	
		3号炉	5月31日	5	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所	除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	
3号炉		稼働時常時機械除去	
排ガス 処理設備		1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— m <sup>3</sup> N/h	38.95 m <sup>3</sup> N/h		
ばいじん	1回/2月				— g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月				— mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月				— ppm		180 ppm	
全水銀	1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N		50 µg/m <sup>3</sup> N	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	5月18日	0.038 m <sup>3</sup> N/h	39.32 m <sup>3</sup> N/h		
ばいじん	1回/2月				2 ppm		<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				7月13日		<1 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月				/		<1 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				/		58 ppm	180 ppm
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	5月18日	— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N		
ばいじん	1回/2月				0.20 m <sup>3</sup> N/h	39.17 m <sup>3</sup> N/h		
塩化水素	1回/2月				11 ppm	<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月				7月13日	<1 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N	
全水銀	1回/4月				/	<1 ppm	180 ppm	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 東部環境センター維持管理記録書(令和3年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,690
		2号炉	1,478
		3号炉	1,480

項目	データ	測定位置	結果報告	測定値	維持管理 基準値	
			(稼働時常時測定)	(月平均値)		
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)		燃焼室 出口	1号炉	6月30日	920	800 以上
			2号炉	6月30日	946	
			3号炉	6月17日	910	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)		集じん器 入口	1号炉	6月30日	168	概ね 200 以下
			2号炉	6月30日	169	
			3号炉	6月17日	168	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)		集じん器 出口	1号炉	6月30日	5	100 以下
			2号炉	6月30日	6	
			3号炉	6月17日	7	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
3号炉		稼働時常時機械除去		

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

項目	データ	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
			煙突 (サンプリング口)	炉				
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	6月16日	7月16日	0.15 m <sup>3</sup> N/h 9 ppm	38.26 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月	<0.001 g/m <sup>3</sup> N					0.08 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月	4 mg/m <sup>3</sup> N 3 ppm					200 mg/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月	84 ppm					180 ppm	
全水銀	1回/4月	1.6 µg/m <sup>3</sup> N					50 µg/m <sup>3</sup> N	
硫黄酸化物	1回/2月	0.13 m <sup>3</sup> N/h 7 ppm					38.90 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月	<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N					
塩化水素	1回/2月	2 mg/m <sup>3</sup> N 1 ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N					
窒素酸化物	1回/2月	71 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	4.6 µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N					
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	6月16日	7月16日	0.20 m <sup>3</sup> N/h 11 ppm	39.26 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月	<0.001 g/m <sup>3</sup> N					0.08 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月	1 mg/m <sup>3</sup> N <1 ppm					200 mg/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月	84 ppm					180 ppm	
全水銀	1回/4月	26.1 <sup>※6</sup> µg/m <sup>3</sup> N					50 µg/m <sup>3</sup> N	
硫黄酸化物	1回/2月	0.20 m <sup>3</sup> N/h 11 ppm					39.26 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月	<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N					
塩化水素	1回/2月	1 mg/m <sup>3</sup> N <1 ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N					
窒素酸化物	1回/2月	84 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	26.1 <sup>※6</sup> µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N					

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

※6 この値は、6/15の測定(240µg/m<sup>3</sup>N)で基準値を超過したため、大気汚染防止法に則り、3回以上の再測定の結果を合わせたものから最大最小値を棄却した平均値になります。(この値は再測定を4回実施しております。)

# 東部環境センター維持管理記録書(令和3年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,722
2号炉		2,710	
3号炉		—	

項目	データ	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)		燃焼室 出口	1号炉	7月31日	926	800 以上
			2号炉	7月31日	943	
			3号炉	休炉	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)		集じん器 入口	1号炉	7月31日	168	概ね 200 以下
			2号炉	7月31日	169	
			3号炉	休炉	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)		集じん器 出口	1号炉	7月31日	6	100 以下
			2号炉	7月31日	5	
			3号炉	休炉	—	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	休炉
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		休炉	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>		1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
				2号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
				3号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— m <sup>3</sup> N/h	39.30 m <sup>3</sup> N/h
						— ppm	
ばいじん		1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	— g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素		1回/2月				— mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	— ppm	180 ppm
全水銀		1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	— m <sup>3</sup> N/h	39.12 m <sup>3</sup> N/h
						— ppm	
ばいじん		1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	— g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素		1回/2月				— mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— ppm	180 ppm
全水銀		1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 東部環境センター維持管理記録書(令和3年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,653
		2号炉	2,641
		3号炉	—

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	8月31日	939	800 以上
		2号炉	8月31日	963	
		3号炉	8月31日	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	8月31日	168	概ね 200 以下
		2号炉	8月31日	169	
		3号炉	8月31日	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	8月31日	4	100 以下
		2号炉	8月31日	4	
		3号炉	8月31日	—	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	8月11日	10月1日	0.1 m <sup>3</sup> N/h	39.97 m <sup>3</sup> N/h	
	5 ppm							
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					6 mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
	3 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	80 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	8月11日	10月1日	0.27 m <sup>3</sup> N/h	39.61 m <sup>3</sup> N/h	
	14 ppm							
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					3 mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
	2 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	72 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	— m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
	— ppm							
ばいじん	1回/2月					— g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					— mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
	— ppm							
窒素酸化物	1回/2月	— ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N		

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 東部環境センター維持管理記録書(令和3年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,814
	2号炉	1,385	
	3号炉	2,426	

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	9月22日	927
		2号炉	9月30日	973
		3号炉	9月30日	932
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	9月22日	168
		2号炉	9月30日	168
		3号炉	9月30日	168
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	9月22日	3
		2号炉	9月30日	5
		3号炉	9月30日	5

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	9月16日	11月18日	0 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	9月21日	11月18日	0.000057 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			3号炉	9月17日	11月18日	0.00031 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
						1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	9月15日	11月2日	0.19 m <sup>3</sup> N/h	
	10 ppm					39.76 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					9 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					5 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				2.4 µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	— m <sup>3</sup> N/h	
	— ppm					— m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					— g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					— mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					— ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	9月15日	11月2日	0.27 m <sup>3</sup> N/h	
	14 ppm					39.21 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					4 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					2 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				93 ppm	180 ppm	
					— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 東部環境センター維持管理記録書(令和3年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
	2号炉	2,751	
	3号炉	2,675	

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—
		2号炉	10月31日	985
		3号炉	10月31日	970
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—
		2号炉	10月31日	170
		3号炉	10月31日	168
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—
		2号炉	10月31日	5
		3号炉	10月31日	5

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス処理設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h		
	1回/2月				— g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月				— mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N	
	1回/2月				— ppm		180 ppm	
窒素酸化物	1回/2月				— ppm		180 ppm	
全水銀	1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	10月19日	12月14日	0.16 m <sup>3</sup> N/h	39.71 m <sup>3</sup> N/h	
	1回/2月					8 ppm		0.08 g/m <sup>3</sup> N
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					1 mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
	1回/2月					<1 ppm		180 ppm
窒素酸化物	1回/2月	110 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月				4.1 µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	10月19日	12月14日	0.30 m <sup>3</sup> N/h	39.56 m <sup>3</sup> N/h	
	1回/2月					15 ppm		0.08 g/m <sup>3</sup> N
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					4 mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
	1回/2月					2 ppm		180 ppm
窒素酸化物	1回/2月	86 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月				2.9 µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N		

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 東部環境センター維持管理記録書(令和3年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
		可燃ごみ	1号炉 2号炉 3号炉

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	967	800 以上
		2号炉	11月30日	993	
		3号炉	11月30日	934	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	168	概ね 200 以下
		2号炉	11月30日	170	
		3号炉	11月30日	158	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	10	100 以下
		2号炉	11月30日	5	
		3号炉	11月30日	6	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
					— ppm		
ばいじん	1回/2月				— g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				— mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
					— ppm		180 ppm
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	— m <sup>3</sup> N/h	39.51 m <sup>3</sup> N/h	
					— ppm		
ばいじん	1回/2月				— g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				— mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
					— ppm		180 ppm
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	— m <sup>3</sup> N/h	38.96 m <sup>3</sup> N/h	
					— ppm		
ばいじん	1回/2月				— g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				— mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
					— ppm		180 ppm
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	— ppm	180 ppm	
					— ppm		
窒素酸化物	1回/2月				— ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N		50 µg/m <sup>3</sup> N
					— µg/m <sup>3</sup> N		50 µg/m <sup>3</sup> N

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 東部環境センター維持管理記録書(令和3年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,509
	2号炉	1,228	
	3号炉	2,505	

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	12月31日	966
		2号炉	12月15日	958
		3号炉	12月31日	951
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	12月31日	168
		2号炉	12月15日	170
		3号炉	12月31日	168
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	12月31日	5
		2号炉	12月15日	4
		3号炉	12月31日	7

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所	除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	
3号炉		稼働時常時機械除去	
排ガス 処理設備		1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	12月16日	1月27日	0.10 m <sup>3</sup> N/h	
	5 ppm					40.41 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					2 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	<1 ppm					180 ppm	
窒素酸化物	1回/2月				81 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				3.1 µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	12月15日	1月27日	0.04 m <sup>3</sup> N/h	
	2 ppm					39.46 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					<1 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	<1 ppm					180 ppm	
窒素酸化物	1回/2月				100 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				2.4 µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	12月16日	1月27日	0.086 m <sup>3</sup> N/h	
	4 ppm					40.52 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					3 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	2 ppm					180 ppm	
窒素酸化物	1回/2月				82 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				3.6 µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 東部環境センター維持管理記録書(令和4年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,276
2号炉		—	
3号炉		2,674	

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	1月31日	977
		2号炉	休炉	—
		3号炉	1月31日	993
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	1月31日	168
		2号炉	休炉	—
		3号炉	1月31日	168
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	1月31日	3
		2号炉	休炉	—
		3号炉	1月31日	6

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	1月27日	3月16日	0.10 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					7 ppm	36.12 m <sup>3</sup> N/h
塩化水素	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					3 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					2 ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	88 ppm	
全水銀	1回/4月					— μg/m <sup>3</sup> N	50 μg/m <sup>3</sup> N
硫黄酸化物	1回/2月					— m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					— ppm	— m <sup>3</sup> N/h
窒素酸化物	1回/2月					— g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	— mg/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月					— ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					— ppm	180 ppm
硫黄酸化物	1回/2月					— ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					— μg/m <sup>3</sup> N	50 μg/m <sup>3</sup> N

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 東部環境センター維持管理記録書(令和4年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,349
2号炉		79	
3号炉		1,547	

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	2月28日	971	800 以上
		2号炉	2月28日	918	
		3号炉	2月28日	992	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	2月28日	168	概ね 200 以下
		2号炉	2月28日	168	
		3号炉	2月28日	168	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	2月28日	3	100 以下
		2号炉	2月28日	10	
		3号炉	2月28日	5	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所	除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	
3号炉		稼働時常時機械除去	
排ガス 処理設備		1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
	— ppm					
ばいじん	1回/2月				— g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				— mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	— ppm				— ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	— ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N
硫黄酸化物	1回/2月				— m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
	— ppm				— ppm	— ppm
ばいじん	1回/2月				— g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	— mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	— ppm				— ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月				— ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N
硫黄酸化物	1回/2月				— m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
	— ppm	— ppm	— ppm			
ばいじん	1回/2月	— g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N			
塩化水素	1回/2月	— mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N			
	— ppm	— ppm	180 ppm			
窒素酸化物	1回/2月	— ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月	— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N			

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 東部環境センター維持管理記録書(令和4年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	868
	2号炉	2,554	
	3号炉	1,724	

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月12日	967
		2号炉	3月31日	999
		3号炉	3月31日	982
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月12日	171
		2号炉	3月31日	168
		3号炉	3月31日	168
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月12日	3
		2号炉	3月31日	7
		3号炉	3月31日	3

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所	除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	
3号炉		稼働時常時機械除去	
排ガス 処理設備		1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	— ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	3月2日	3月31日	0.14 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					6 ppm	41.48 m <sup>3</sup> N/h
塩化水素	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					2 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					1 ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月				90 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	3月2日	3月31日	0.06 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					3 ppm	39.12 m <sup>3</sup> N/h
塩化水素	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					<1 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					<1 ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月				90 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	3月15日	3月31日	0.21 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					10 ppm	40.22 m <sup>3</sup> N/h
塩化水素	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					3 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					1 ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月				100 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				— µg/m <sup>3</sup> N	50 µg/m <sup>3</sup> N	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。